



平成31年3月1日選定

図書館員が選ぶおすすめの本 ～中学生向け～



「漫画 君たちはどう生きるか」

吉野源三郎 // 原作 羽賀翔一 // 漫画 マガジンハウス



多くの人に影響を与えてきた名著が漫画になってよみがえりました！中学生のコペル君は、皆さんと同じように色々な体験をし、苦しんだり悩んだりします。そっと寄り添ってくれる叔父さん。あなたの心に響く言葉にきっと出会えます。

「折れない心で希望をつなぐ！ iPS細胞を発見！ 山中伸弥物語」

上坂和美 // 著 PHP研究所



2012年ノーベル賞を受賞した山中伸弥さん。毎日怒られていた研修医時代。心が折れそうになった研究。彼は苦難を乗り越えて、患者さんのために走り続けています。そして今、こう言います。「どんどん試して失敗するのが大切です。」

「16歳の語り部」

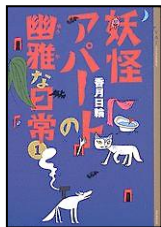
雁部那由多・津田穂乃果・相澤朱音 // 語り部
佐藤敏郎 // 案内役 ポプラ社



「あのとき、何が起こったのかを理解でき(中略)その体験を自分の言葉で伝えられる最後の世代」として、東日本大震災当時小学生だった3人が、それぞれの体験や思いを率直に語ってくれた。未来のために。

「妖怪アパートの幽雅な日常①」

香月日輪 // [著] 講談社



さあ、新しく高校生活が始まると喜んだ矢先、入る予定の寮が全焼。代わりにみつけたアパート、これが、出るんです、妖怪が！！俺の、妖怪たちとの暮らし。面白かったら、続きが10巻まであるよ。

「夜間中学へ ようこそ」

山本悦子 // 作 岩崎書店



「小学校と中学校って、義務教育でみんな行ったんじゃないの？」優菜の驚きをよそに、おばあちゃんはこの春から夜間中学1年生。おばあちゃんの中学生生活と関わりを持つうちに、優菜も自分を見つめ直していきます。

「文学のピースウォーク 少年たちの戦場」

那須正幹 // 作 はたこうしろう // 絵 新日本出版社



歴史の教科書を開けば、戦争についての説明は書いてあります。でも、そこには生身の人間はなかなか感じられません。実際には、大人も子どもも、その時を懸命に生きていたのです。今の私達と同じように。

「ウィロビー・チェースのオオカミ」

ジョン・エイキン // 作 こだまともこ // 訳
パット・マリョット // 画 富山房



高原の丘に建つ広大なお屋敷ウィロビー・チェースに、住み込みの家庭教師がやってきました。主人夫妻の留守をいいことに、好き放題をする悪徳家庭教師。ひとり娘ポニーの運命やいかに？！

「ブロード街の12日間」

デボラ・ホプキンソン // 著 千葉茂樹 // 訳 あすなる書房



19世紀、ロンドンの下町ブロード街にやってきた「青い恐怖」。それは、コレラ(当時原因不明)の大発生だった。原因をつきとめ、感染拡大を食い止めることができるのか？！13歳の少年イールはスノウ博士の下で、町中をさぐります。

「不思議の国のアリス」

ルイス・キャロル // 作 脇 明子 // 訳 岩波書店



ディズニーでおなじみのアリス。もともとはこんなお話なんです。次々にありえない不思議なことがおきるアリスの冒険。初めて出版された時のテニエルのさし絵もぜひ楽しんでください。

※対象年齢は目安です。



那須塩原市図書館

